

2015年3月

第54号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888

過激派組織の横暴を許すな

「イスラム国」を名乗る過激派武装グループによって拘束されていた湯川遥菜さんに続いて、フリージャーナリストの後藤健二さんが殺害された。罪もない人々に非道な行為を繰り返すテロ行為を強く非難するとともに断じて許すことができない。

後藤さんはイスラム国に拘束されている湯川さんを救い出すために出国したとも伝えられているが、戦争に巻き込まれた子供や女性たちに光をあてて難民の苦境を取材してきたジャーナリストである。2014年10月23日、シリアに向かう途中のツイッターで「戦いで生まれる新たなシリア難民18万人はどうする?」と呼びかけ、その後発信が途絶えた。後藤さんは命をかけて難民の窮状を訴えて支援を呼びかけてきたものであって、決して「イスラム国」を敵対視した行動を取ったものではない。

今回の人質事件の政府対応について、「イスラム国を名指しして人道支援を表明したこと」あるいは、「イスラエル国旗を背に安倍首相が会見したこと」を疑問視する論評も見られるが、犯人側は2億ドルの身代金を要求し、その後、ヨルダンで監修されている爆破テロ犯の女性死刑囚の釈放を求めるなど、およそ我が国独自で解決し得ない難題を押し付けてきたのである。

さらに、今回の犯人側の一連の動きを見てみると「メディアの活用と無理難題の要求」「類を見ない残虐な人質の殺害」「計算されたメディアによる広報活動」などが大きな特色となっている。人を殺害することに「なんのためらい」も見せることのない冷酷さと不気味さが漂っている。

国家はいかなる場合でも「自国民の保護」に対して重大な責任を持っている。しかし、今回の事件を通して1.イスラム過激派組織について十分把握できていなかった2.組織化された情報収集体制が確立されていない3.独自の力で後藤さんたちを救出する手段を持ち合わせていない等、情報も交渉も他国に委ねなければならないわが国の脆弱な立場と危機管理体制が浮き彫りとなった。

今年に入ってからでもフランス・イタリア・ベルギー・デンマークなどで相次いで連続銃撃事件が発生し、中東・アフリカの各地で過激派によるテロ行為が多発しているほか、シリアでの内戦、イスラム国と近隣地区との紛争など政情不安や国境の枠を超えたテロの脅威も高まっている。

我が国としては今後危険地帯への渡航を慎重にするよう指導強化する必要があるが、情報収集活動のあり方や救出作戦の範囲、法整備等について早急に検討し対策を講ずる必要がある。さらに、過激派を拡大させないために国際社会と一体となって、その地域の平和と安定や貧困から地域住民を守る為の長期的な地道な活動が求められている。

雨の日には

雨の中を

風の日には

風の中を

みつを

あたりまえの生き方

私ごとで大変恐縮ですが、これは、私の作品集のタイトルです。

雨の日を、天気の良い日と比べて、「悪い日」だと思う、人間（自分）中心の考え方をやめること。

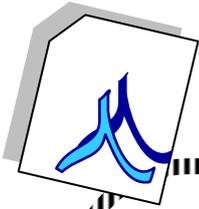
雨の日には、雨を、そのまま全面的に受け入れて、雨の中を雨といっしょに生きてゆく、という意味です。

つまり、特別なことではない、ごくあたりまえの生き方のことです。

あたりまえだけれど、これは、常に前向きで、積極的にいけるといふことです。

そして、この場合の、雨や風は、次から次へと起きてくる人間の悩みや迷いのことです。

相田 みつを



デイヴィッド・リヴィングストン (スコットランドの探検家・宣教師・医師)

- 1813年3月19日 スコットランドのブランタイアに生まれた。生家は貧しく10歳ころから紡績工場で働く傍ら夜間学校に通い、聖書ラテン語等の学問に意欲を示した。
- 1836年 グラスゴー大学に入学。医学と神学を学ぶ。
- 1838年 ロンドン宣教師協会に入会。宣教師として研修を受ける。
- 1840年12月8日 当時イギリス領であった南アフリカへ布教のため派遣される。現ボツワナノクルクンに居を構え、布教の拠点となる地方を探し、アフリカ内陸部を北上し探検。1849年8月1日ヨーロッパ人で初めてヌガミ湖に到着。1851年6月ザンベジ川に到達。1854年4月コンゴ川を通過し5月31日南大西洋沿いの都市ルアンダに到達。
- 1854年9月 ルアンダを出発。1855年11月17日ヨーロッパ人として初めてモシ・オ・トゥニヤ滝の壮大な瀑布を目に感銘を覚え当時のイギリス女王ヴィクトリアにちなみミヴィクトリア滝と名づけた。
- 1856年3月2日 インド洋沿いのモザンビークの都市キリマネに到達。ヨーロッパ人として初めてアフリカ大陸横断に成功した。
- 1858年 女王勅命によりキネマ駐在大使ならびにザンベジ探検隊長に任命される。第二次アフリカ探検。
- 1866年 ナイル川の水源探求の探検。第三次アフリカ探検。
- 1872年5月1日 探検の途中、マラリアの合併症のため死亡。享年60歳。

リヴィングストンは奴隷市場廃絶を繰り返し訴え続け、奴隷市場の閉鎖にも貢献した。スコットランド10ポンド紙幣に肖像が使用されている。

オススメのBOOK



『住んでみたヨーロッパ9勝1敗で日本の勝ち』

作者 川口マーン恵美 講談社+α新書

作者は、ドイツ・シュトゥットガルトに住む3女の母であり、作家、拓殖大学日本文化研究所客員教授。ベストセラーとなった「住んでみたドイツ8勝2敗で日本の勝ち」に次ぐエッセーだ。日本人のものの考え方、日本人の性格、住まい環境などをヨーロッパと比較しお互いの良さや問題点などを拾いだし、それぞれ長い歴史が背景となって異質の文化も作り上げられて来ていると思われるが、根底には「狩猟民族」と「農耕民族」の相違があるような気がする。

本書は外国に住み客観的に比較してみて日本に軍配を上げ、日本人には日本の良さを再確認して欲しいとの思いが伝わってくる。



事故で考える 家族が困らない保険金額 \$

万が一、自動車事故で他人を死傷させてしまった場合、自動車保険があります。

最近では、対人賠償・対物賠償はともに「無制限」で加入するのが一般的です。これは、自動車事故の場合、相手を選ぶことが出来ないからです。このような痛ましい事故が起きてしまった場合、最終的にお金で解決するしかありませんので相手に与えてしまった損害額を算出することになります。次に損害額に過失割合を乗じて損害金額が決定されます。

例えば、40才男性（被扶養者が3人）を死亡させてしまった場合の損害額は平均で約7,700万円、寝たきりになった場合は約1億3,700万円と死亡事故よりも高額になります。寝たきりになった場合、将来にわたって必要となる介護費用が発生するからです。学生などの若い年代ほど大きい金額になる傾向にあります。年齢が若ければ、平均寿命までの期間が長くなり、その間の介護費用も大きくなるからです。また示談できず裁判になれば更に高額になる場合があります。実際の判例では、被害者の学生に対して、3億円を超える損害額となったケースもあります。これらは、対人賠償「無制限」でカバーできます。

では、対人賠償が使えないケースはどうでしょうか？具体的には自分の過失で自分や家族が死傷した場合です。

このような場合に備えるために人身傷害という補償があります。一般的には3,000万円から無制限の間で設定できます。

例えば3,000万円で設定している方が自損事故で寝たきりになってしまった場合、1億円を超える損害額が算出されたとしても、受け取れる保険金は3,000万円となってしまいます。保険会社によっては、重度の後遺障害の場合、倍額の支払いをしてくれるところもありますが、それでも実際の損害額には足りません。これでは、他人の命は無制限で、自分や家族の命は3,000万円です。実際に自分や家族が寝たきりになり、介護が必要になった場合、誰かが仕事を辞め介護をすることで収入が減少したり無くなったりします。しかも64才以下の方は事故による公的介護保険の認定を受けることが出来ないため、介護費用も大きな負担になることが想定されます。

全てを保険で備える必要はないと思いますが、万が一の時に介護をしてくれる家族が困らないような金額設定にしておくことが重要です。自動車保険に限らず保険は適正な金額を設定することを頭に入れて契約をしましょう。

【編集後記】

今年の冬は秋田市では異常気象と言える。例年以上の降雪となっているが積雪が異常に少ない。2月上旬から幹線道路にはほとんど雪がない。

それに伴って交通事故も建物の雪害も例年に比べて少ない。凌ぎやすい冬であった。

高校生の就職希望者の95%以上が就職内定となっている。

春闘が始まり例年に比べて賃上げムードも高まっている。

暖かい春を迎え経済も上昇気流に乗って大きく羽ばたいて欲しい。

